

18. 9月中旬に成熟するナシ新品種「岡山PER1号」の育成

[要約]

芳香があり、食味が優れ、果肉障害の発生が少なく、栽培が容易な9月中旬に成熟するナシ新品種「岡山PER1号」を育成した。

[担当] 岡山県農林水産総合センター農業研究所 果樹研究室

[連絡先] 電話086-955-0276

[分類] 技術

[背景・ねらい]

岡山県のナシの推奨中生品種である、「あきづき」は果実品質が優れるが、果肉障害が発生することがある。また、腋花芽の着生が非常に少なく、結果枝の確保が難しいことが問題である。そこで、生理障害が少なく、品質がよく、栽培の容易なナシ新品種を育成する。

[成果の内容・特徴]

1. 岡山県立農業試験場北部支場（現 閉鎖）で、1996年に晩生の「新高」と中生の「豊水」を交配し、得られた交雑実生個体から育成した樹から選抜し、2007年度に「岡山ナシ2号」として2次選抜を開始して育成した品種である。
2. 発芽や展葉は対照品種である「あきづき」、「豊水」より遅く、開花はほぼ同時期かやや遅い（表1）。収穫は「あきづき」とほぼ同時期の9月12日前後（県南部）であり「豊水」より4日程度遅い（表2）。
3. 果実重は「あきづき」と同程度かやや小さく、「豊水」より大きい（表2）。
4. 糖度は対照品種よりやや低いが、酸味は少ない（表2）。また、親品種の「新高」に似た強い芳香がある。
5. 「あきづき」で問題となる果肉のコルク状褐変は、ほとんど認められない。また、「豊水」で問題となるみつ症の発生はほとんど認められない（表2）。
6. 腋花芽の着生が少ない「あきづき」と比べて発育枝上の腋花芽の着生が多く、結果枝の確保が容易である（表3）。

[成果の活用面・留意点]

1. 登録後5年間は岡山県内への利用許諾とし、その後、他県への利用許諾について関係部署と協議する。
2. 花粉が少ないため、人工受粉用の花粉源としては適さない。
3. 果実の外観は親品種である「豊水」に近く、表面に筋が入ることが多く、ややいびつな印象を受ける（図1）。
4. 本品種は「岡山PER1号」として品種登録(2016年6月28日)され、「晴香」として商標登録(2017年9月15日)された。「追記2018年9月」

[具体的データ]

表1 「岡山PER1号」及び対照品種の発芽、展葉及び開花期(2012～2015年の平均)

品種名	発芽日	展葉日	開花期		
			開花始日	満開日	開花終日
岡山PER1号	3月28日	4月9日	4月12日	4月13日	4月20日
あきづき	3月23日	4月7日	4月11日	4月14日	4月20日
豊水	3月22日	4月6日	4月10日	4月12日	4月19日



図1 「岡山PER1号」の果実の外観

表2 「岡山PER1号」及び対照品種の果実特性(2012～2015年の平均値)

品種名	収穫日	果実重 (g)	糖度 (° Brix)	pH	果皮色 ^z (c.c.)	地色 ^z (c.c.)	果肉硬度 ^y (lb)	裂皮 ^x (0～4)	みつ症 ^x (0～4)	コルク状 ^w (箇所/果実)
岡山PER1号	9月12日	541	12.5	4.9	4.8	4.1	4.6	0	0.1	0.0
あきづき	9月11日	567	13.6	4.8	4.7	3.7	4.9	0	0.0	0.7
豊水	9月8日	460	13.5	4.7	4.4	4.2	4.6	0	1.0	0.0

^z果皮色は農水省カラーチャート(豊水用)、地色はニホンナシ用地色判定用カラーチャートを用いた

^yパローフ社製フルーツテスターによる計測値(8mm針頭)

^x達観により判定(0:無、1:微、2:少、3:中、4:多)

^w果梗部から果頂部方向に約1cmの厚さで輪切りにし、切断面に見えたコルク状褐変の個数

表3 「岡山PER1号」及び対照品種の休眠期における発育枝上の腋花芽形成(2014年)

品種名	新梢長 (cm)	基部径 (mm)	腋花芽数 (個/枝)	全芽数 (個/枝)	腋花芽率 (%)	枝長さ10cm当たり の腋花芽数(個)
岡山PER1号	115.5	13.9	17.5 A	21.6	81.6 A	1.52 A
あきづき	107.9	14.6	4.6 B	27.8	17.6 B	0.47 B
豊水	118.4	13.7	17.1 A	23.1	74.2 A	1.45 A

^z数値右の異なる符号間には大文字は1%水準で有意差あり(Tukey法)

[その他]

研究課題名：ナシ新品種の育成

予算区分：県単

研究期間：1973～2015年度

研究担当者：藤井雄一郎、樋野友之、安井淑彦

関連情報等：藤井ら (2016)、品種登録出願 第30979号